

平成19年4月25日

4号機の警報発生に関する調査結果について

定期検査中の4号機において、平成19年2月24日、「原子炉自動スクラム（B系）^{*1}」の警報が発生しましたが、その後、当該警報をリセットいたしました。

なお、同号機は定期検査中であることから、制御棒が全挿入状態となっており、制御棒の動作はなく、安全上の問題はありません。

これによる外部への放射能の影響はありません。

（平成19年2月24日お知らせ済み）

調査の結果、警報発生の可能性のある機器および回路などの点検や、ジャンパー線^{*2}の取り付け状況を確認しましたが、異常は認められず、原因の特定には至りませんでした。

本事象は、偶発的に発生した誤動作と推定しております。

以 上

*1 原子炉自動スクラム（B系）

原子炉を緊急停止するための信号が片系統だけ発生した状態であり、制御棒は動作しない。スクラム信号はA・B両系が同時に発生することで制御棒を全挿入し、原子炉を緊急停止させる。

*2 ジャンパー線

電気回路の端子間を一時的につなぐ線。